

海洋教育事業実施報告書

玉野市観光協会「渚の交番プロジェクト」推進室

- 1、名称 うみのおともだち！in 渋川保育園
- 2、開催日、時間 2月20日（火）10:00~11:00（参加園児 24名）
 3月 5日（月）10:00~11:00（参加園児 29名）
- 3、場所 渋川保育園

4、内容

2月20日は、身近な海に棲息する海の生き物について紹介をし、持参した生物を実際に見て触れて体験してもらった。また、近海に棲息する毒を持った生物等を紹介し、その危険性についても説明した。

【写真】2月20日（火）



3月5日は、前回持参した生き物よりも小さく、かつ肉眼で観察できる大きさの生き物を紹介した。実際に、海には沢山棲息しておきながら気付かれにくい生き物を学ぶことにより、よりマクロな視点で興味を持ってもらえることを目的とした。アクリル製の透明な容器に海の浅瀬を再現し、実際に観察してもらった。また、生き物を手に乗せ、虫眼鏡を使って色や模様、形に注目して観察を促した。

【写真】 3 月 05 日 (月)



2 回の講義では、もっと海を身近なものと感じてもらうことをテーマとし、海洋教育の入り口となることを目的とした。

<終了後に海ダンスを披露してくださいました>



5、感想

園児に対しての講義は初めてであり、どこまで内容を詰めるかとても心配であったが、想像していたよりも遥かに興味と反応を示し、とても安心した。スライドを使った説明も、20 分程度ならかなり集中して話を聞いていたので、体験時間を含めトータル 1 時間という設定は適切だと思う。

子ども達の興味の多くはやはり実際の生き物であり、講義だけでなく実際の生き物を持参する効果を感じることができた。その際、一度に多くの園児に対応するとが難しく、規模の大きな保育園等では対策が必要だと感じた。

また、持参する生き物も必ずしも準備できるとは限らないので、講義メインのイベントとなった場合の内容についても考える必要がある。

6、備考

・準備物について

PC（渚の交番物品）

モニター（安原私物）

海洋生物（臨海実験所飼育動物、齊藤採集動物）

観察用水槽（OBA 海洋教育部門、臨海実験所）

観察器具（臨海実験所）

生物運搬用発泡スチロール、トスロン（臨海実験所）

ペーパータオル（臨海実験所）

今回のイベントは試験的なものであり、多くの物品を私物や臨海実験所の物品で対応した。今後、事業の一環として展開していく際には、プロジェクター等の映像装置や、観察用の水槽、ペーパータオル等の消耗品が必要である。

準備する生き物についても、季節により種や量が変わってくるので、それに合わせた講義の内容を考える必要がある。